

説 教

イースター礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2023年4月9日（日）

主 題：「復活の主は希望を与える」

—神の恵み—

テキスト：1コリント人への手紙15章3－10節

はじめに・ **イースター、おめでとう！**

- ・ 私たちは、イエス・キリストが復活された「よみがえりの日」を記念し、神に心から感謝し、この日をお祝いしたいと思います。全世界で、時を同じくして、イエス・キリストの復活が記念されています。このお方こそ、死に勝利され、復活されたお方です。ですから、イエス・キリストは人類の救い主（メシア）です。
- ・ さて、私たちの心の中にはさまざまな「願い」があります。多くの方々は、自分を変えたい、変えられたいと「願い」ます。しかし、自分を変えることは容易ではありませんね。もし自力で変えられるならば、人は悩むことはないでしょう。パウロは次のように言いました。

1コリント人への手紙**15:10** ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。

- ・ 皆さん。パウロは変えられました。そして、「私は今の私になりました。」と言いました。しかも実現させたのは、「神の恵み」であると語りました。いったい彼は、どのように変えられたのでしょうか。その秘訣は、今日のテキストに秘められています。イエス・キリストの「復活の章」と呼ばれる第一コリント人への手紙15章から、私たちは2点学びたいと思います。

大切なポイント**1. キリスト・イエスに出会う前のパウロ (Before)****使徒の働き**

- 9:1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、
- 9:2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

9:3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、
天からの光が彼を巡り照らした。

9:4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」
という声を聞いた。

9:5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、お答えがあつ
た。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

・迫害者パウロはイエスに出会い、生活が大変化しました。それは復活された
イエスに出会ったことが始まりでした。1コリント人への手紙15章

15:9 私は使徒の中では最も小さい者であつて、使徒と呼ばれる価値のない
者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。

彼は神の前で正直でした。すべてを見ておられる神の前に立ったからです。

・これが、パウロのクリスチャンになる以前の姿でした。

しかし、パウロは復活されたイエス・キリストにお出会いし、大きく変えら
れました。イエスの復活は、彼の人生を大きく変えてしまいました。では、
いったいどのように変えられたのでしょうか。

2. キリスト・イエスに出会った後のパウロ (After)

1) 復活の事実と証人

15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けた
ことであつて、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、
私たちの罪のために死なれたこと、

15:4 また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられ
たこと、

・パウロはここで、三つの事実を語りました

- ① イエスは私たちの罪のために死なれた
- ② イエスは埋葬された
- ③ イエスは三日目に復活された

この箇所は、パウロの信仰告白の核心（中枢）と言われています。

・更にパウロは次のように言いました。

15:5 また、ケパに現われ、それから十二弟子に現われたことです。

15:6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。
その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者
もいくらかいます。

15:7 その後、キリストはヤコブに現われ、それから使徒たち全部に現わ
れました。

- ・パウロはこの事実を証明するために、5つ証人グループをあげました。

- ① ケパ (ペテロのヘブル名)
- ② 12 弟子
- ③ 500 人以上の兄弟たち
- ④ ヤコブ
- ⑤ すべての使徒たち

◎ 復活の事実

- ・皆さん。このように聖書を読んでいますと、大切なことはイエス・キリストの十字架の死と、埋葬、復活を、見た人々がいるという**事実**でした。それがグッド・ニュース (福音) です。
- ・初代教会時代のクリスチャンたちのメッセージの中心は、
⇒イエス・キリストの復活にありました。
パウロは、かつて教会を激しく迫害した人でした。しかし、その彼が突然、伝道者になりました。敵対者が味方になりました。彼の大きな変化を説明できる理由は、何でしょうか……？ ただ一点、
⇒復活のキリストに出会った、という事実です。
- ・キリストの復活は、それまで信じていなかったイエスの兄弟ヤコブや、他の人々をも回心させた出来事でした。そればかりか、パウロは復活の目撃者はまだ存命中であると言いました。
{1コリント15章は、キリストの死後約25年して書かれたと言われます。したがって、当時まだ生き証人がいました。}
- ・パウロはさらに言いました。

2) **パウロの正直な告白**

15:8 **そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現われてくださいました。**

- ・「**月足らずで生まれた者**」(Ektroma エクトロマ: 翻訳の適語が日本語にな
い) 私たちは、この言葉からどんなイメージを持つでしょうか……。この言葉は、早産で生まれた未熟児を指していません。そうではなくて、生まれる前から、「胎児の時から五体が不具、奇形、不完全な嬰兒」を意味します。つまり。ヘブル的視点では、このような嬰兒は靈的に死んだと等しい状態です。
- ・ですから、まったく値のない嬰兒で、無価値に等しい者であるということです。彼はユダヤ神学を、当時の権威ある学者ガマリエル師の下で、教えを受けた超エリートの人でした。その彼が、自分は「**月足らずで生まれた**

者」と言いました。

- ・パウロは「**自分は月足らずで生まれた者**」、ひそかにおろされる流産の子に等しい子、光を見ることなかった嬰兒であると言いました。彼は復活のイエスに出会った時、強い光に照らされ、自分がどんなに値のない者であるかを認識しました。
- ・パウロは、ギリシャのコリントの聖徒たちへこの書簡を書きました。コリントの人々は、物質的には十分恵まれ豊かでした。そこは日本のバブル経済絶頂期のように、人々は高慢な思いに包まれていました。彼らの多くは、丸で自分たちが王様のような気分で生活していました。そこで復活のイエスに出会った彼は、自分がどんな存在であるかを説きました。

15:9 私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。

 - ① 使徒の中では最も小さい者、
 - ② 使徒と呼ばれる価値のない者、その理由は、
 - ③ 私は神の教会を迫害したからである、と言いました。
- ・彼は、クリスチャンたちを捕らえ迫害しました。殉教者ステパノが殺害された現場にもいました。そればかりか、彼はステパノ殺害に加担していました。彼はそういう事実を認めながら、次のように言いました。

15:10 「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」
- ・神の恵みが、パウロを大きく変えたのでした。同じように私たちも、イエス・キリストを信じるならば、つまりイエスは復活されたと信じるならば、変えられます。

3) 祝福の人生のはじまり

- ・では、どうすれば変えられるのでしょうか。⇒ それは、神の前で自分の姿を正直に認めることです。創造神の前で、自分はどんな歩みをしてきたのでしょうか。思いの中で、行為の中で、日々の歩みの中で、神の前に立っているのでしょうか。パウロは、復活の主の光に照らされ、自分の存在がはっきりと分かりました。⇒ 自分は罪ある存在である
- ・イエス・キリストの十字架の御死と復活は、罪ある私たちを救うためでした。イエスは私たちのすべての罪の負債を、その身に負ってくださいました。私たちは、ただそのお方を信じるだけでよいのです。これがイ

エス・キリストの福音です。信じるだけで、救われます。なんという幸いではありませんか。

- ・愛する皆さん。神は恵みに富むお方です。聖書全体には、一つのメッセージ（グッド・ニュース）が流れています。

⇒ 神は、恵みを千代まで与える富むお方です。

私たちは、この聖書の神を本当に信じているでしょうか。天父神に対し、私たちはどのようなイメージを持っているでしょうか。

・あなたの心の内にある「思い」が、「思考」を生み出し、「行動」を生むのです。

パウロはイエスの復活を信じることによって、天父神の愛を経験しました。そして人生が大きく変えられる経験をしました。その彼が語った言葉は；

15:10 ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。

- ・いかがでしょうか。パウロに現れてくださったイエスは、私の人生にも現れてくださいます。そして、天の御国に向かい、生きる希望を与えてくださいます。いかがでしょうか……。

- ・イエス・キリストを信じる人は幸いです。なぜなら、キリスト・イエスが復活されたように、朽ちない姿に変えられるからです。

1コリント15人への手紙

15:51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠ってしまうのではなく、みな変えられるのです。

15:52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

- ・イエス・キリストを信じる者には、「朽ちないものによみがえる」という希望があります。これこそキリスト者の特権です。

ま と め

主 題：「復活の主は希望を与える」

—神の恵み—

- ・私たちは今日、イエス・キリストの復活を記念しています。イエスの復活を信じたパウロは、大きく変えられました。まるで別人のように、変えられました。私たちもイエスの復活を信じるならば、変えられます。なぜなら、パウロの神と私たちの神とは、同じ神であるからです。そして、神の豊かな祝福に与り、内なる人の信仰がパワーアップされるのです。

- 神に近づくことが許され、千代に至る神の祝福にあずかる人とされます。それは信仰の成長です。パウロは、それは「神の恵みです。」と言いました。私たちもパウロのように、「神の恵み」に預かる者となろうではありませんか。
- 1 コリント人への手紙
15:10 「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に 対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

* God bless you!